

校務のDX化を進めることは、働き方改革の側面以外に各授業でのICT活用促進に繋がることから、全ての学校で早急に取り組む必要があります。今号では、本道の多くの学校で取組が必要な保護者との連絡に関するオンライン化に触れている他、生成AIパイロット校での実践について紹介します。

保護者との連絡をオンラインで！

令和6年4月4日付け教ICT第10号通知「道立学校におけるICT活用の推進について」の調査結果から、校務DXの項目では、特に保護者との連絡（欠席連絡や日程調整等）に関する取組が進んでいない現状が判明しました。

【学校におけるDXチェック
リスト集計結果の一部】



【保護者端末画面の一例】

①児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか。

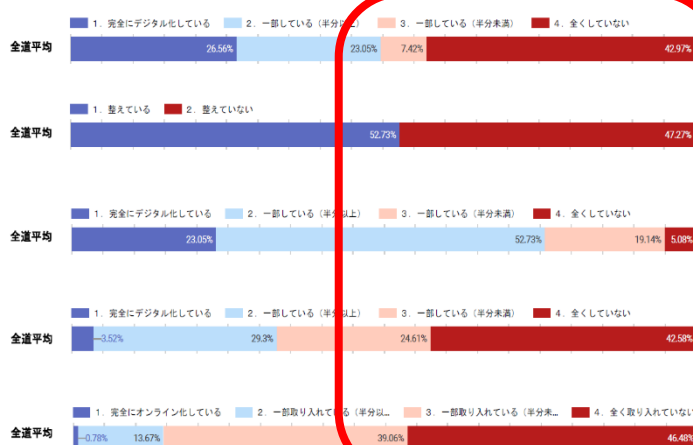
②業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービス等を用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか。

③保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。

④保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか。

⑤学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。

未実施と回答した学校の割合



- 通信用の共用アクセス先を作成し、保護者にアカウント登録をしてもらうことで、紙で配付していた通信等をオンライン化できます。
- 参考ページには、この他にも欠席連絡や調査のオンライン化、懇談会や面談のオンライン実施等が掲載されています。
- GIGAワールド通信第39号でお知らせした「道立学校ICT支援員を活用した学校DX推進事業」においても重点取組事項とし、今後多くの学校での展開を予定しています。

※参考 文部科学省Webページ URL <https://www.mext.go.jp/studxstyle/index.html>

生成AIの授業での活用

札幌市立発寒東小学校の実践



【生成AI活用の様子】

- 札幌市立発寒東小学校は、リーディングDXスクール生成AIパイロット校として、授業や校務において生成AIの活用を進めています。
- 生成AI使用にあたっては事前学習を行うだけでなく、各授業時間内においても、生成AIの使用前にガイドラインに沿った指導の機会を設けており、児童は生成AIの特性を理解した上で活用をしています。

□児童の活用方法は、壁打ち（生成AIに質問→生成AIの回答から次の質問を投げかけることを繰り返す）が主ですが、生成AIを初めから使用して案立てのサポートをしてもらう、生成AIを活用して自分で考えた案を深める、その結果を周りの児童と意見し合う姿が見られるなど、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実している授業でした。

□道立学校では、帯広柏葉高校が生成AIパイロット校となっています。帯広柏葉高校の実践については、今後の通信で紹介していきます。

今号のコラム

リーディングDXスクール事業 校内研修会

リーディングDXスクール事業 帯広柏葉高等学校

オンライン研修会

日本経済は、下記内容の二部構成となっています。

一部「個性豊かな学び」と「協働的な学び」の一体的な発展と効果的なICTの活用
 それぞれの学びを一歩に進化し、「主体的」「協働的」「創造的」な学びの実現に向けた取組を進めるために、ICTは必要不可欠とされています。本講座では、その効果的な活用方法について、事例を交えて説明します。

二部「授業や教育現場における生成AIの活用に関する最新のガイドライン」
 生成AIについては、教育現場において授業や教育のサポートツールとして活用されています。本講座では、昨年7月に公表されたガイドラインの内容をもとに、「授業や教育現場に活用する」「子どもたちは生成AIをどのように活用していくのか」「学校の教育に生成AIの活用方法とは、どのようなものなのか」といった内容を交えて説明します。

口述発表の間に、質疑応答時間を設けていますので、気軽にご参加ください。

令和6年(2024年) 6月5日(水) 13:30~15:00

吉田 壘
 東京大学 大学院工学系研究科 情報科学 教授
 文部科学省 学校ICT活用アドバイザー
 教育技術開発研究所 所長 兼 研究員

…… 日 程 ……

13:00~ 受付
 13:30~ 開会、趣意説明
 13:40~ 講演
 15:00~ 閉会

…… 対象者 ……

小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員

参 加 申 込

※道庁等の主催の研修会、必ず参加申込みをお願いします。

次のURLまたは2次元コードから申し込み願います。QRコード

URL: <https://forms.gle/Jkri5t5eW7qQuCx7>

申込期限 令和6年(2024年)6月3日(月)

事務局 北海道教育庁ICT推進局(教頭 小林)
 TEL 0155-23-5897
 E-mail eduhokkaiyou@hokkaido-c.ed.jp

【研修会案内チラシ】

6月5日(水)、リーディングDXスクール事業指定校である帯広柏葉高校で実施した校内研修会をオンラインで同時配信し、帯広柏葉高校の先生方に加えて全道から約60名の先生方に参加いただきました。研修会では、東京大学の吉田准教授よりICTの効果的な活用と生成AIの利用について、学校内で体制を作り、まずは少人数から始めて輪を広げていく等組織として対応する重要性や、技術を身につけることで教員の仕事が楽になり時間の節約に繋がるだけでなく、教育の質が向上するというメリットについて紹介いただきました。

道教委ではリーディングDXスクール事業での成果を全道の多くの学校に還元するため、研修会の他、オープンセミナーや全道協議会の開催を予定していますので、積極的にご参加ください。

○オープンセミナー

第1回：6月24日(月) 15:00~16:00

第2回：10月1日(火) 14:00~15:00

○学びのDX事業「ICT活用全道協議会」

開催日時：12月中旬予定(詳細が決定次第通知します)

基本操作研修(道立学校対象) あと1回!

- 今年度もGoogle Workspace for Education基本操作研修は3回の実施を予定しており、昨日2回目を実施しました。3回目の申込を受け付けていますのでぜひご参加ください。

【第1回】・研修内容：スプレッドシートを使ってみよう

・開催日時：5月8日(水) 16:00~16:45

・参加人数：141名

【第2回】・研修内容：Googleサイトを使ってみよう

・開催日時：6月12日(水) 16:00~16:45

・参加人数：203名

- 第3回の実施は以下のとおりです。

・研修内容：Figjamを使ってみよう

・開催日時：7月10日(水) 16:00~16:45

・申込期限：7月2日(火) 17:00まで

・申込方法：Googleフォーム(下記URL又は2次元コード)から申込み

URL: <https://forms.gle/oj9icLYsGimMEZ6W6>

※GWSの教職員アカウント(@hokkaido-c.ed.jp)でログインしてから、お申込みください。



【申込フォーム】

ICT活用ポータルサイト



チャットボット案内が利用
できます!

ICT活用に向けた 校内研修プラン



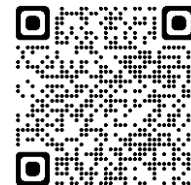
ICTに関する校内研修を企画・
実施する際はこちらへ!

「みんなで研修」プログラム



短時間でICT活用を学べます!

校務DX化の促進に係る 関連情報ページ



ICTを活用した校務の
効率化についてはこちら!

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

